

「情報教育研究会」設立にあたって

情報教育研究会 副会長 勝間田 清一
 明星学園高等学校教諭
 katsumata@y5.dion.ne.jp

1. はじめに

平成23年4月1日、「情報教育研究会」を設立した。

小学校、中学校、高等学校、専門学校の先生方と情報関連企業や教材関連企業の担当者を中心に組織された。今までの研究会にない特色を取り入れて運営している。

2. 設立の経緯

高等学校教科「情報」が始まり10年近く経過した。各学校の先生方も授業の方法や自校に合ったカリキュラムなどが固まった時期と思われる。

各研究会での発表や授業事例をみていると、情報教育も一定の方向性が出てきたようである。また、教科「情報」の授業事例や教育研究報告も多くある。

しかし、小学校・中学校の情報教育分野からのつながりがみえない面がある。

また、情報教育関係の研究会において、情報機器や教材関係の企業や担当者の会員が少ない状況もみられる。

そのような状況のなか、東京のある私学の情報教員の集まりの場で、これを補う研究会を発足させようと数人の仲間と計画した。賛同する仲間10人ほどを集め発起人を組織し、2年間かけて準備し、設立に至った。

設立にあたり会員募集の呼びかけは、発起人のもつ個人情報網と、東京私学中学高等学校協会の連絡網、雑誌などで呼びかけた。発起人は中学や高等学校の情報科教員が多かったため、企業と小学校関係者の会員募集に力を注いだ。

3. 会の内容・組織

名称：情報教育研究会（情報研）

<http://www.infoedu.jp/>

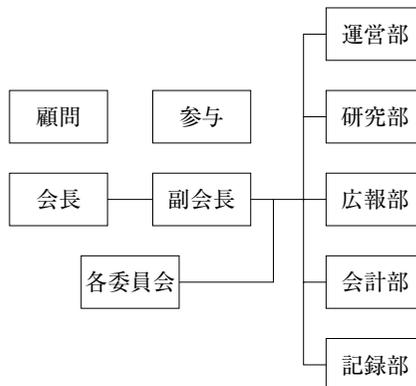
目的：会員間における情報交換、情報教育の充実
 情報教育関係者のスキル向上と発展

入会資格：特になし。情報教育に興味を持つ者（小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学関係者、団体・企業、専門学校生や大学生）など
 活動内容：

1. 情報教育に関する研究
2. 総会、研究会、講習会等の開催
3. 会報、研究紀要等の発行
4. 教育機関、関係団体、企業との連携活動や研究
5. 会の委員会や役員会が必要と認めた事業

会員：正会員、団体（企業）会員、学生会員
 会費：無料（通信費として正会員1,000円、団体会員5,000円、学生会員500円）

構成：



役員：会長、副会長、部長、委員長、監査
 （任期は2年）

活動予定：

研究会（研修会） 4月，10月，12月（2か月に1回程度）

〔内容〕

研究発表，研究授業，施設見学，企業とのイベント教材発表説明会，研修講習会（教員用，生徒用）

研究大会（夏休み中，平成23年度は8月2日）

〔内容〕 研究発表，講演，企業展示

総会（春頃実施予定）

〔内容〕 活動内容報告，活動計画，役員係の決定，運営方針検討

役員会（月1回程度）

4. 設立大会

研究会設立のための大会を以下の内容で行った（写真1）。

テーマ「新教育課程に向けて」

日時：平成23年4月1日 14：00～

場所：杉並公会堂（東京都杉並区）

プログラム：

(1) 研究会設立にあたり趣旨説明

明星学園高等学校 勝間田清一

(2) あいさつ 京華学園前校長 松下秀房

(3) 研究発表—新課程を意識した授業提案

①「4時間でどうにかする著作権の授業」

中央大学杉並高等学校 生田研一郎

著作権の授業を4回にわたって行う場合の授業内容の展開例。著作物，著作者，著作権，著作隣

接権，著作権が及ばない場合，著作権の国際条約の考え方を例示し説明（公開資料は以下から）。

http://www.infoedu.jp/htdocs/?action=common_download_main&upload_id=50

②「シミュレータを使用したロボットによる感情表現活動」

東京都市大学付属中学高等学校 神藤健朗

PaPeRoソフトを使用したロボット制御，感情表現にはどのような内容があるかを分析。喜・怒・哀・楽の特徴を確認。感情を調査し，ロボットに投影し，ロボットを制御してみる5時間分の授業（公開資料は以下から）。

http://www.infoedu.jp/htdocs/?action=common_download_main&upload_id=51

(4) 企業展示及び休憩（30分）

施設設備関連会社，ソフトウェア関連会社，教科書会社など，10社が参加（写真2）。

(5) パネルディスカッション

テーマ「新課程に向けて言いたいこといろいろ
～教科書会社編」

平成25年度から情報の新学習指導要領が実施されるのを機に，現在教科書会社ではこれに対応する新しい教科書を編集，作成中である。そこで，新課程に向けて教科書会社の担当者を迎えパネルディスカッションを行った。パネラーとして3社（実教出版，東京書籍，日本文教出版）の編集担当者が参加した。

パネルディスカッションの前半は，パネラーによるポジショントークを行い，各社の方針，概要



写真1 設立大会の様子（4月1日）



写真2 設立大会時の企業展示

などが発表された。後半は、司会を中心にパネラーと会場とのトークを行った。

新教科書は現在編集中で、各社とも「社会と情報」「情報の科学」を出版予定であるという。文部科学省の検定前であるので、詳細な内容は未発表であるが、編集方針と概要説明があった。

現在使用されている情報A、B、Cの教科書の冊数から類推すると、「社会と情報」の教科書の需要が多く見込まれる模様である。

会場とのトークにおいては、教科書に準拠した授業が行われているかが話題となった。会場からの意見として、あまり教科書に沿って行われていない模様であった。この一要因として、私学の教員が多いことによるものと思われる。私学は、中高一貫教育が多く、中学校からの情報の繋がりや学校の特色、レベル、生徒からのニーズ、教員の要望、学校の自由度などによるのであろう。また、大学のセンター入試に採用されていないことも要因の1つであろう。

活発な意見交換が1時間ほど行われ、平成25年度から始まる新教科「情報」の取り組みの糸口がみえたパネルディスカッションであった。

5. 研修会

情報教育研究会は、団体会員（企業会員）が多く所属していることが特色である。授業を効果的に行うには有効な教材が必要な教科でもある。便利で使える教材の紹介と情報提供の1つとして、研修会を行っている。

第1回研修会

テーマ「電子黒板の利用」

日時：平成23年6月18日（土）

場所：帝京高等学校（東京都板橋区）

内容：電子黒板は、各社からいろいろなタイプのものが発売されている。今回は、プロジェクターで投影する形式、液晶モニター形式、専用シートに投影する形式の3つの方式の紹介があった。それぞれの電子黒板はいろいろな機能と価格があり、それぞれの特徴をメーカーの担当者が紹介し



写真3 第1回研修会の様子（帝京高等学校）

た。その後、参加者がそれぞれの機器の操作実習を行った（写真3）。

6. 今後の活動方針

会員は、全国の小学校から大学までの関係者、企業や教材関係者で組織されている。

情報教育の発展とより良い教育（授業）を行うにあたり、情報発信、情報交換を行ってゆく方針である。

より良い教育を行うには情報機器や教材の利用が必要であるので、団体（企業）会員の会員数がさらに増えることが望まれる。

現在100人弱の会員数である。少人数の研究会であるが、ただ会員数を増員するだけでなく、所属している会員に対する対応が重要であると考えられる。研究・研修会を数多く催して会員の参加機会を増やし、人的交流と情報交換を活発にし、情報教員としてのスキルアップを図ることが研究会の目的でもある。

また、教員用だけでなく生徒用の研修会も時々催す必要もあろう。生徒へのサービスを行うと同時に、将来に向けて情報分野に向かう人材づくりに寄与できれば、会の果たす役割は大きいと思われる。

研究会の問い合わせ先：nyukai@infoedu.jp